

sansan

出会いから
イノベーションを生み出す



2024年5月期 通期 決算説明資料

Sansan株式会社 2024年7月11日

免責事項

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。

目次

1 2024年5月期 通期実績

2 成長戦略

3 2025年5月期 通期業績見通し

4 中期財務方針（2025年5月期～2027年5月期）

補足資料

（グループ概要・Sansan／Bill One事業・Eight事業・サステナビリティに関する取り組み）

目次

- 1** 2024年5月期 通期実績
- 2 成長戦略
- 3 2025年5月期 通期業績見通し
- 4 中期財務方針（2025年5月期～2027年5月期）

通期実績ハイライト

売上高、調整後営業利益⁽¹⁾ともに好調に推移

前年同期比で売上高は32.8%増、調整後営業利益は81.5%増、ARR⁽²⁾は30.9%増の33,270百万円
売上高は、通期業績見通しの開示レンジ上限を超える実績

営業DXサービス「Sansan」の堅調な成長が継続

「Sansan」売上高は、前年同期比15.6%増
営業体制の強化等により、新規契約件数の成長が加速

インボイス管理サービス「Bill One」は高成長が継続

「Bill One」売上高は、前年同期比155.5%増
ARRは7,680百万円となり、目標としていた7,500百万円を超過

(1) 営業利益 + 株式報酬関連費用 + 企業結合に伴い生じた費用（のれん償却額及び無形固定資産の償却費）

(2) Annual recurring revenue（年間固定収入）

経営成績の概況

売上高は前年同期比32.8%増収、調整後営業利益は前年同期比81.5%増益となり高成長が継続

経常利益以下の段階利益は、前年同期に信託型ストックオプションに係る一時的な費用を計上していた影響で大きく増益

	(百万円)	2023年5月期	2024年5月期		(ご参考) 2024年5月期	
		通期実績	通期実績	前年同期比	Q4実績	前年同期比
経営成績	売上高	25,510	33,878	+32.8%	9,644	+31.5%
	売上総利益	21,827	28,814	+32.0%	8,165	+34.3%
	売上総利益率	85.6%	85.1%	-0.5pt	84.7%	+1.8pt
	調整後営業利益	942	1,709	+81.5%	595	+227.3%
	調整後営業利益率	3.7%	5.0%	+1.3pt	6.2%	+3.7pt
	経常利益	122	1,224	+903.3%	546	—
	親会社株主に帰属する 当期純利益	-141	953	—	413	—
	EPS	-1.13円	7.59円	—	3.29円	—

調整後営業利益の増減要因

成長戦略により、前年同期比で広告宣伝費が627百万円、人件費が3,107百万円増加
 売上高の好調な伸長に加え、広告宣伝費率が下がったことにより調整後営業利益は767百万円の増加

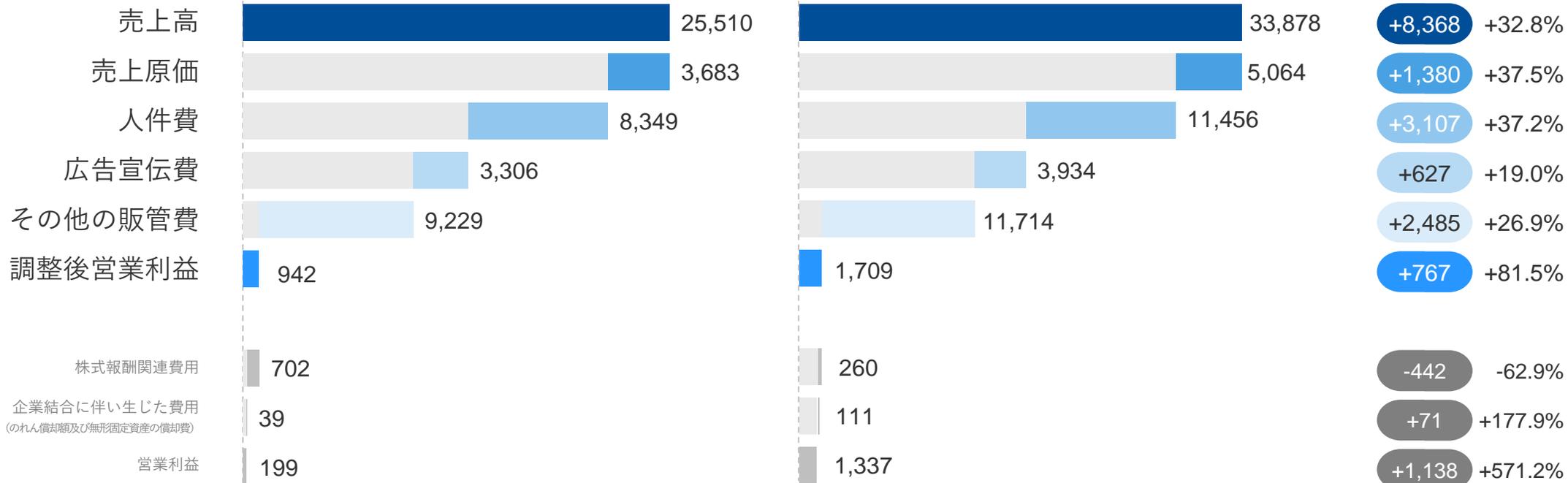
売上高～調整後営業利益の状況

(百万円)

2023年5月期 通期実績

2024年5月期 通期実績

前年同期
増減額 増減率



参考

セグメント別実績の概況

Sansan／Bill One事業、Eight事業ともに、前年同期比で増収、増益。Eight事業は通期での黒字化を達成
調整額（調整後営業利益）の前年同期比でのマイナス拡大は、主には成長戦略に伴う人員の増加によるもの

		2023年5月期	2024年5月期		（ご参考）2024年5月期	
		通期実績	通期実績	前年同期比	Q4実績	前年同期比
(百万円)						
売上高	連結	25,510	33,878	+32.8%	9,644	+31.5%
	Sansan／Bill One事業	22,516	29,948	+33.0%	8,278	+31.7%
	Eight事業	2,867	3,548	+23.8%	1,267	+24.5%
	その他	198	519	+161.3%	140	+163.3%
	調整額	-72	-137	—	-42	—
調整後営業利益	連結	942	1,709	+81.5%	595	+227.3%
	Sansan／Bill One事業	7,005	8,675	+23.8%	2,386	+32.0%
	Eight事業	-170	314	—	321	+792.1%
	その他	-36	-79	—	-17	—
	調整額	-5,856	-7,201	—	-2,095	—

Sansan／Bill One事業の概況

売上高は、「Sansan」の堅調な成長及び「Bill One」の高成長継続により、前年同期比33.0%の増収

調整後営業利益は、営業人員の採用やマーケティング活動の強化により利益率は低下したものの、前年同期比23.8%の増益

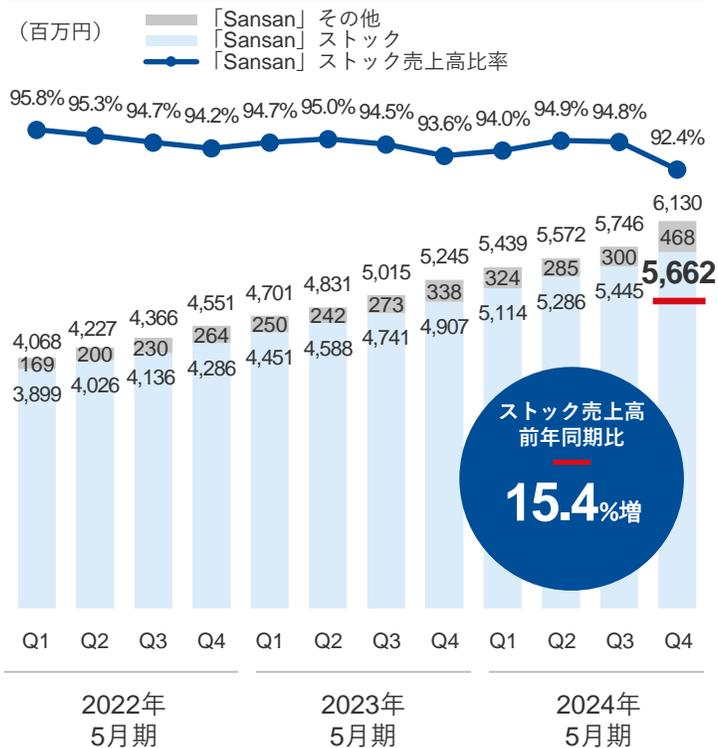
	(百万円)	2023年5月期	2024年5月期		(ご参考) 2024年5月期	
		通期実績	通期実績	前年同期比	Q4実績	前年同期比
Sansan／ Bill One 事業	売上高	22,516	29,948	+33.0%	8,278	+31.7%
	「Sansan」	19,793	22,889	+15.6%	6,130	+16.9%
	「Sansan」ストック	18,688	21,509	+15.1%	5,662	+15.4%
	「Sansan」その他	1,104	1,379	+24.9%	468	+38.3%
	「Bill One」	2,414	6,168	+155.5%	1,898	+118.1%
	その他	308	889	+188.1%	248	+47.4%
	調整後営業利益	7,005	8,675	+23.8%	2,386	+32.0%
	調整後営業利益率	31.1%	29.0%	-2.1pt	28.8%	—

「Sansan」：主要指標の状況

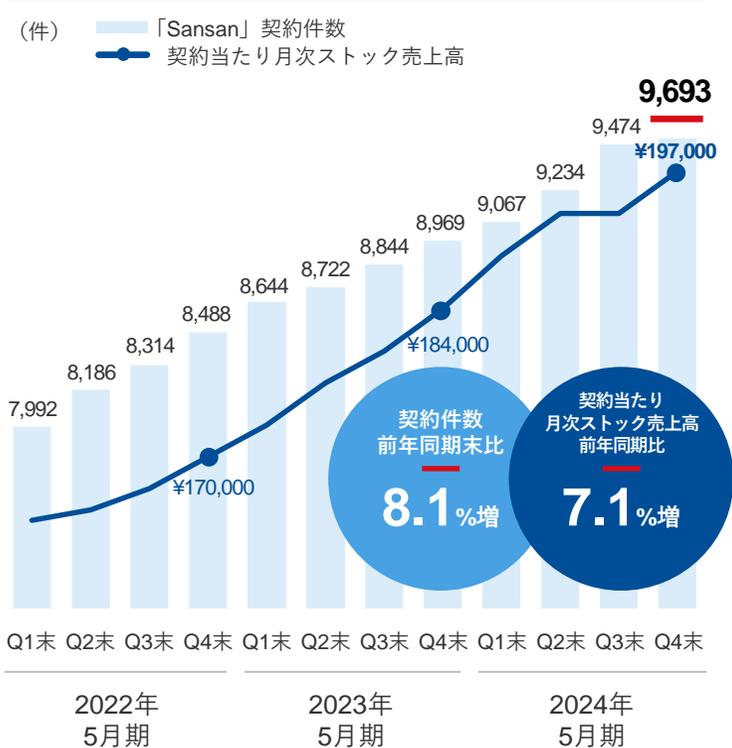


営業体制の強化等に伴い、契約件数、契約当たり月次ストック売上高ともに堅調に成長
 解約率は、前年同期比0.02pt減の0.42%となり、1%未満の低水準を維持

「Sansan」売上高



「Sansan」契約件数・契約当たり月次ストック売上高



「Sansan」直近12か月平均月次解約率 (1)



(1) 「Sansan」の既存契約のMRRに占める、解約に伴い減少したMRRの割合

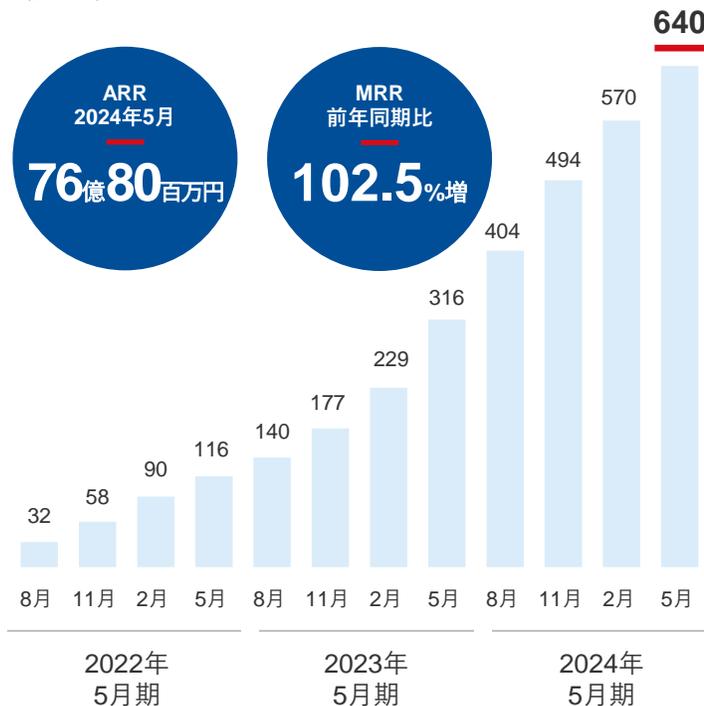
「Bill One」：主要指標の状況



2024年5月末のARRは76億円超となり、2024年5月末目標の75億円以上を達成
 営業体制の強化等により、有料契約件数、有料契約当たり月次ストック売上高ともに好調に推移

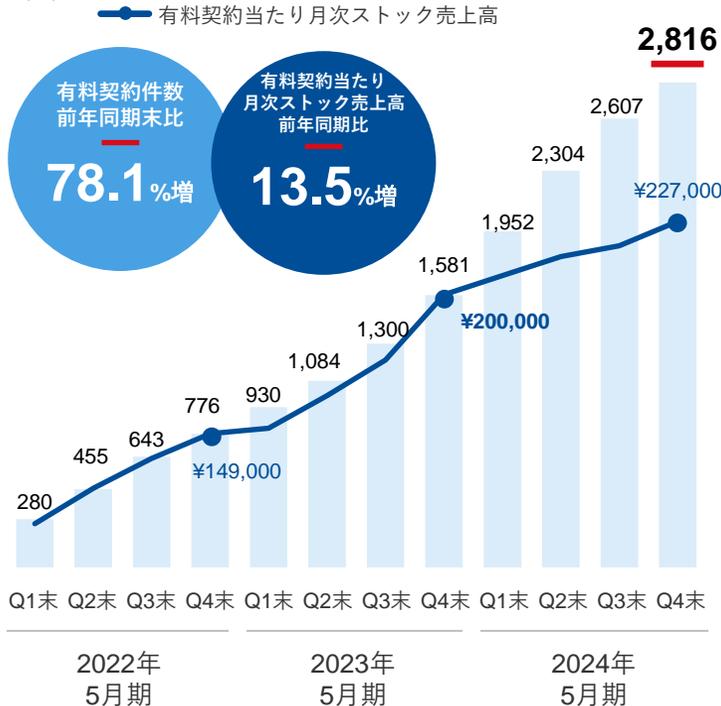
「Bill One」 MRR

(百万円)

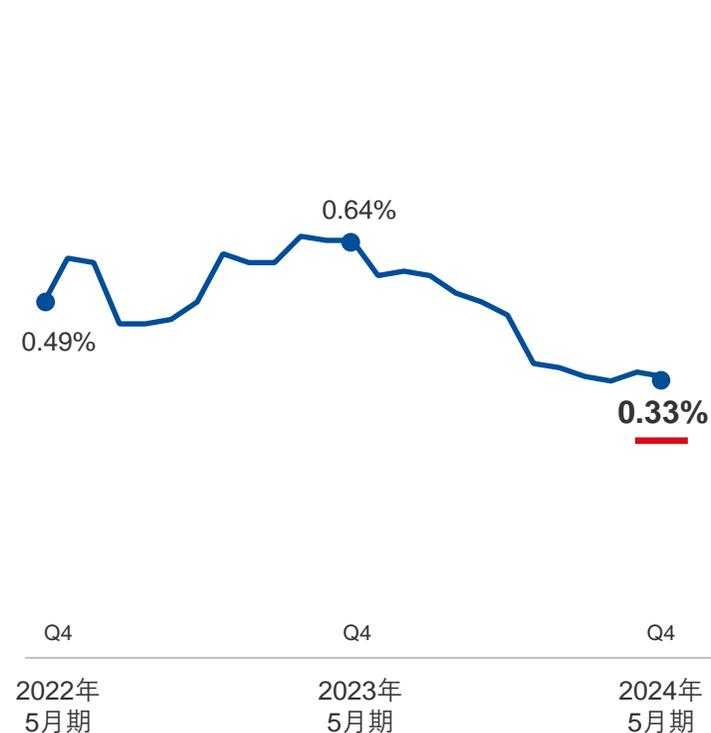


「Bill One」 有料契約件数・有料契約当たり月次ストック売上高

(件)



「Bill One」 直近12か月平均月次解約率 (1)

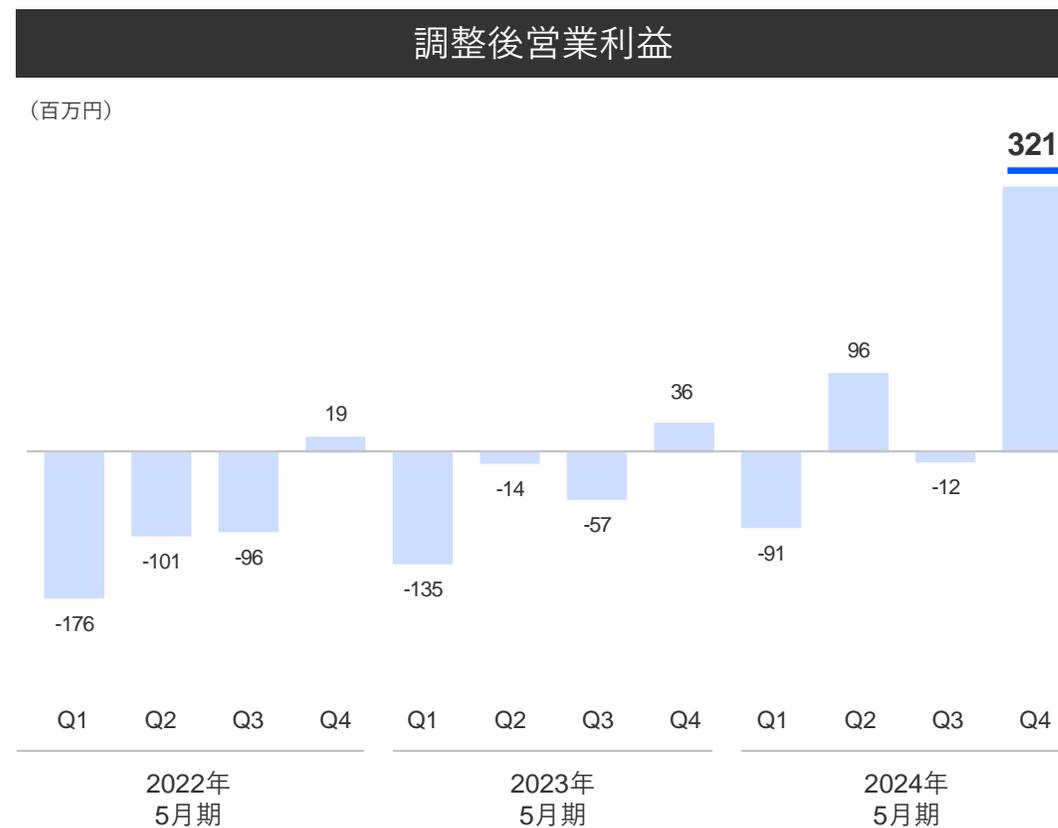
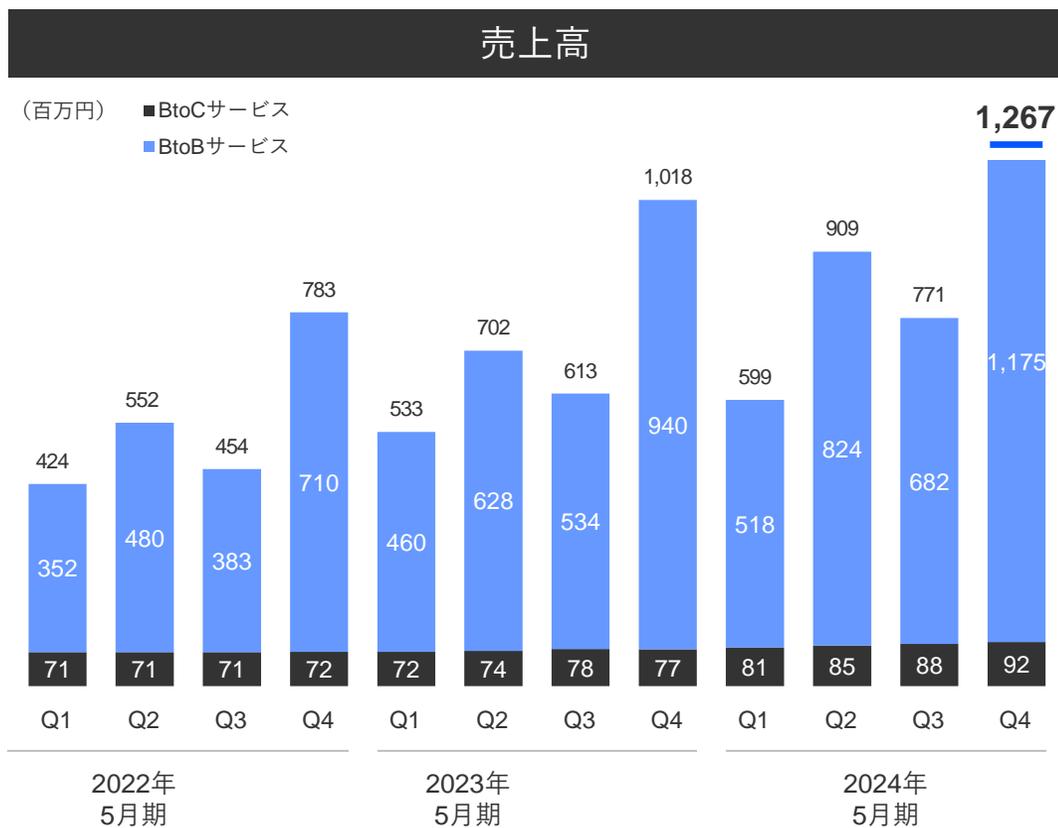


(1) 「Bill One」の既存契約のMRRに占める、解約に伴い減少したMRRの割合

Eight事業：売上高・調整後営業利益



大型のビジネスイベントを開催する、第2四半期と第4四半期の売上高が大きくなる傾向
 2024年5月期 第4四半期は大型のビジネスイベントが好調に推移したことで収益性が大きく改善



目次

1 2024年5月期 通期実績

2 成長戦略

3 2025年5月期 通期業績見通し

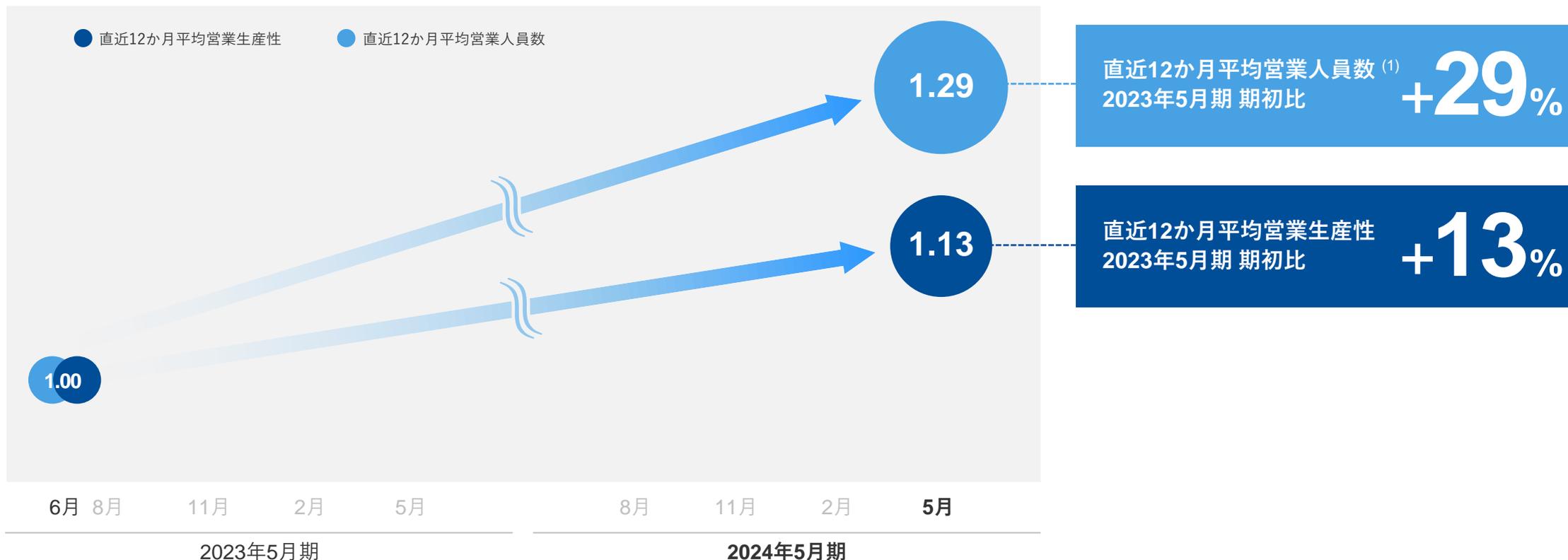
4 中期財務方針（2025年5月期～2027年5月期）

「Sansan」：営業生産性の改善

sansan

2023年5月期の期初と比べて、営業生産性（営業1人当たり受注金額）は約13%改善
安定的な売上高成長の継続に向け、営業生産性の持続的な改善を背景に直近で営業体制を強化

直近12か月平均営業生産性（営業1人当たり受注金額）



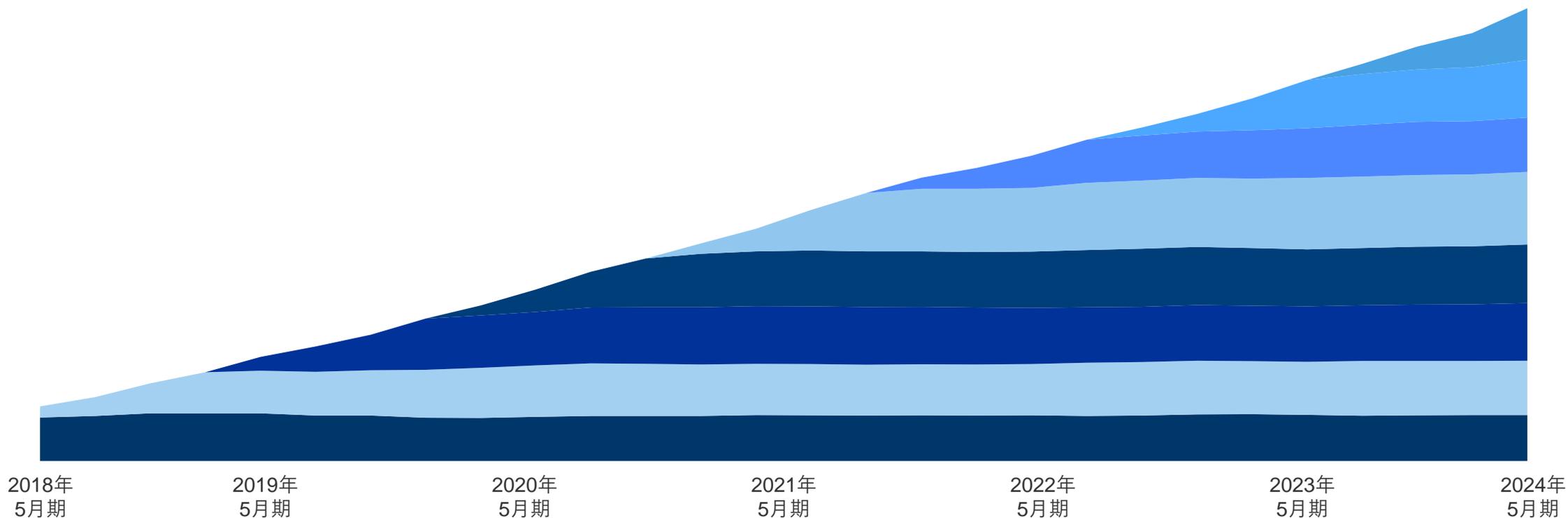
(1) 営業人数はフィールドセールスのみ

「Sansan」：Net Revenue Retention（既存顧客における売上高維持率）

sansan

既存顧客に対するアップセルが順調に進んだ結果、
安定的にネガティブチャーン⁽¹⁾を実現

「Sansan」サービス開始時期別の収入構成⁽²⁾（ストック収入）



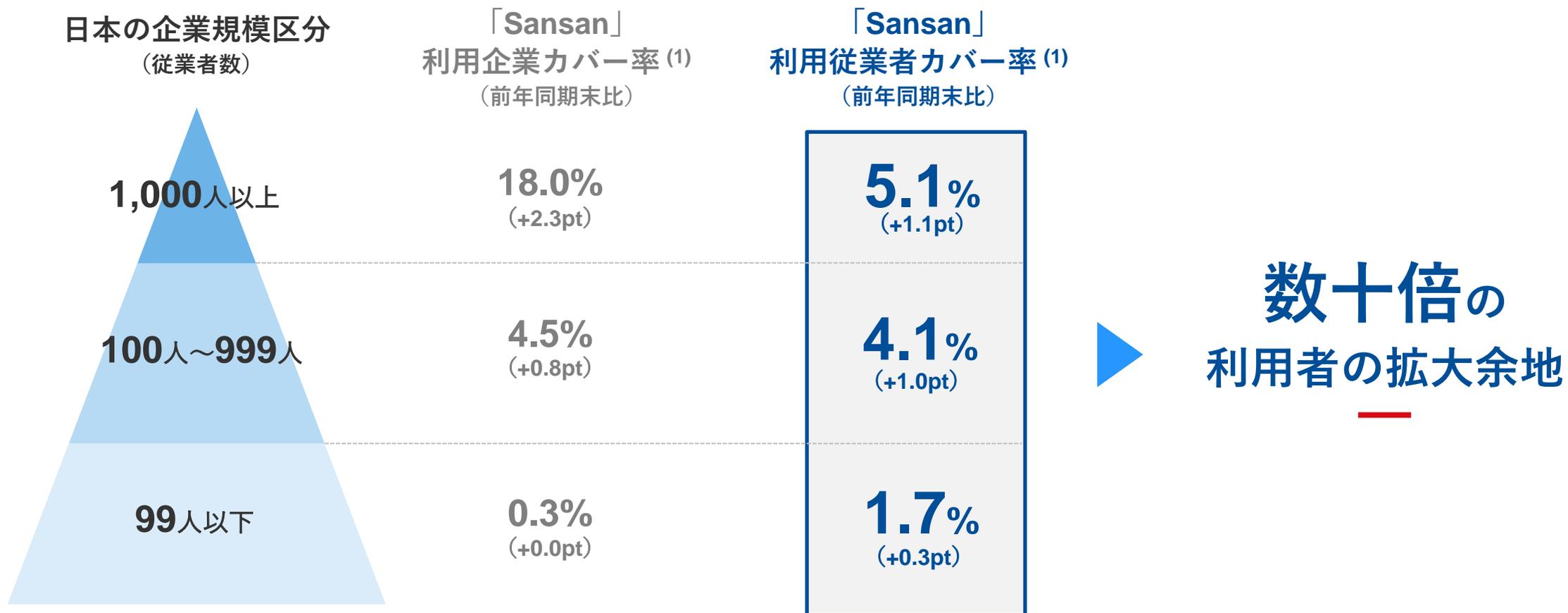
(1) サービスの解約で減少した収入に対して、既存契約における収入増加が上回った状態のこと

(2) 「Sansan」の月額課金額を基に作成（未監査）

「Sansan」：日本国内における潜在市場規模

sansan

多くの企業で利用従業者は限定的であり、日本だけでも数十倍の開拓余地が存在

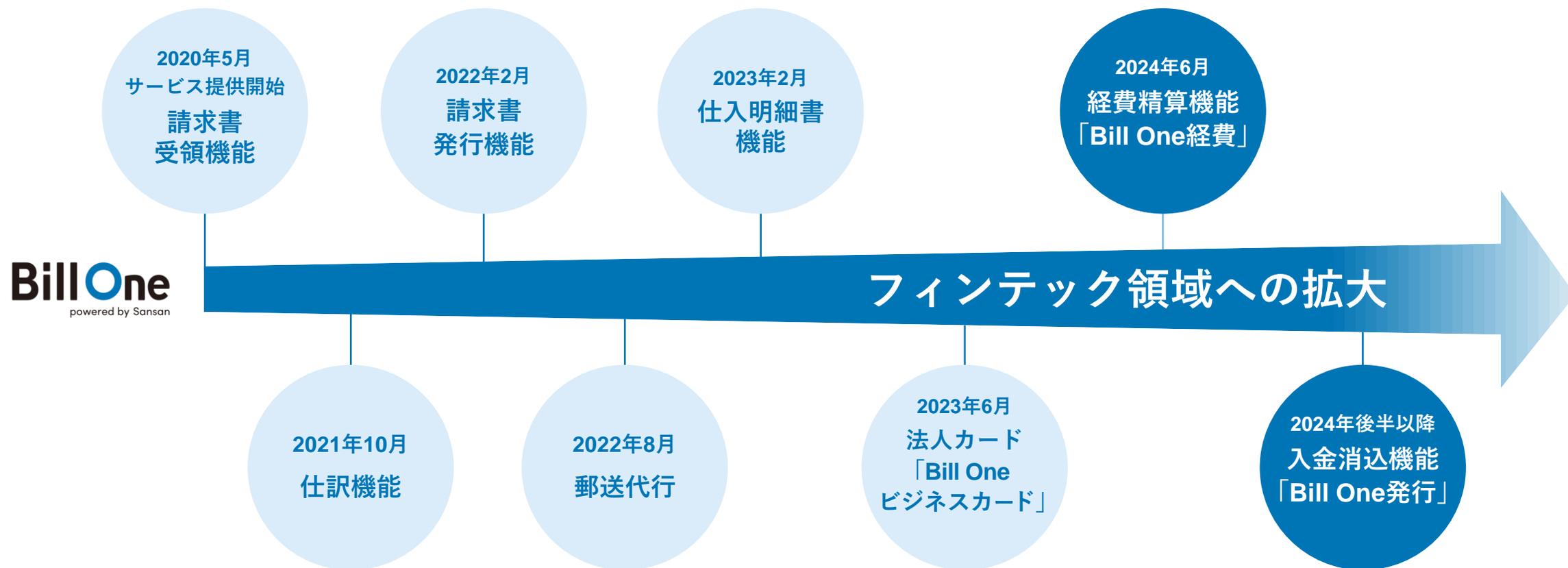


(1) 分母は総務省統計局「令和3年経済センサス活動調査」を基にした数値、分子は2024年5月期末における「Sansan」の契約件数及び合計ID数を基に算出

「Bill One」：展開領域・機能の拡大

Bill One
powered by Sansan

さらなる事業成長に向け、請求書発行から入金消込までを一気通貫で完結させる「Bill One発行」、
「Bill Oneビジネスカード」を用いることで立替精算を無くすことを目指す「Bill One経費」に領域を拡大



「Bill One」：「Bill One経費」の概要



「Bill Oneビジネスカード」の導入により、立替経費に伴う課題を解決
社員の金銭的負担を軽減しながら、経費精算業務の効率化やコスト削減を実現⁽¹⁾

経費精算のフロー

カード決済 ———— 証憑提出 ———— 精算入力 ———— 支払承認 ———— 仕訳 → 口座振込



① 立替経費の廃止・削減

現金使用に伴うさまざまなコストを削減
立替による個人の金銭負担を軽減し、
不適切な経費利用リスクを排除

② オンラインで完結

領収書の提出から承認、仕訳、証憑の
保管まで、経費精算に必要な対応を
オンラインで完結

③ 法対応業務の自動化

「電帳法・インボイス制度」への対応で
発生する業務を自動化

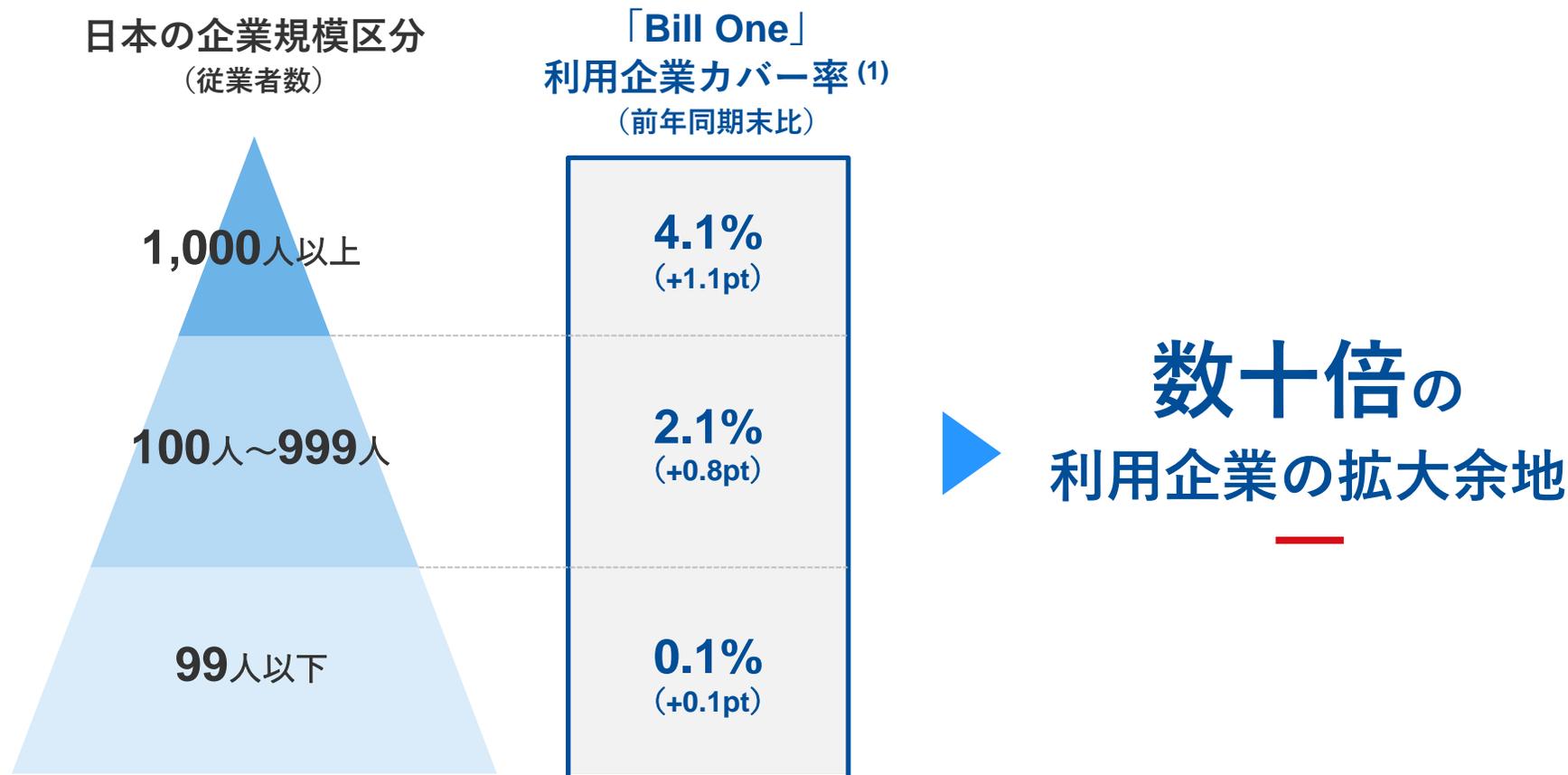
(1) 立替経費もカード払いと同様に経費精算が可能

「Bill One」：日本国内における潜在市場規模



日本国内だけでも大きな開拓余地が存在

サービス提供価値の強化を図りながら、「Bill One受領」を主軸に高成長の継続を目指す



(1) 分母は総務省統計局「令和3年経済センサス活動調査」を基にした数値、分子は2024年5月期末における「Bill One」の契約件数及び合計ID数を基に算出

目次

1 2024年5月期 通期実績

2 成長戦略

3 2025年5月期 通期業績見通し

4 中期財務方針（2025年5月期～2027年5月期）

業績見通し

売上高は、前年同期比27.0%増～30.0%増を目指す

調整後営業利益率は、利益改善のペースが加速し、前年同期比2.0pt～5.0pt改善する見通し

	(百万円)	2024年5月期		2025年5月期 ⁽¹⁾	
		通期実績	前年同期比	通期見通し	前年同期比
業績見通し	売上高	33,878	+32.8%	43,026～44,042	+27.0%～+30.0%
	Sansan／Bill One事業	29,948	+33.0%	37,734～38,483	+26.0%～+28.5%
	「Sansan」	22,889	+15.6%	26,552～26,781	+16.0%～+17.0%
	「Bill One」	6,168	+155.5%	9,870～10,486	+60.0%～+70.0%
	Eight事業	3,548	+23.8%	4,683～4,896	+32.0%～+38.0%
	調整後営業利益	1,709	+81.5%	3,012～4,404	+76.2%～+157.6%
	調整後営業利益率	5.0%	+1.3pt	7.0%～10.0%	+2.0pt～+5.0pt

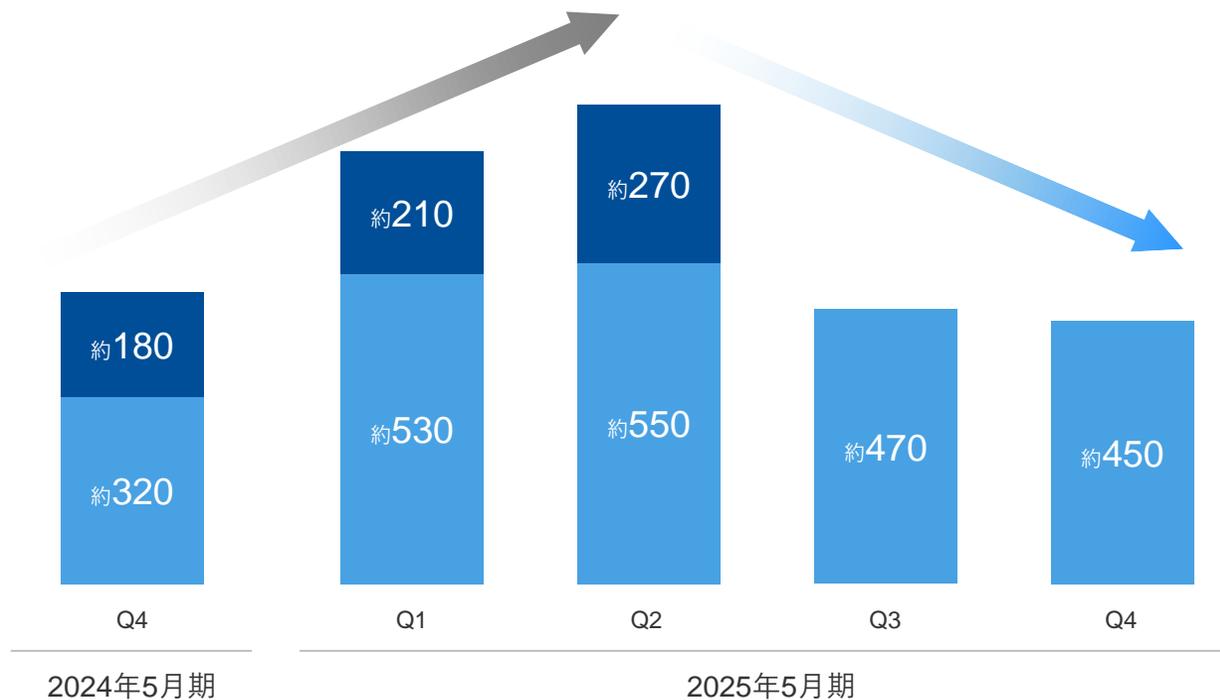
(1) 営業損益以下の段階損益については、当社の株価水準によって大きく変動する可能性のある株式報酬関連費用や、一部の営業外損益等の合理的な見積もりが困難であることから、具体的な予想数値の開示は行っていません。

主要コストの見通し

主な販売費及び一般管理費として、人件費⁽¹⁾は前年同期比約29%前後、広告宣伝費は前年同期比約16%前後の増加を見込むほか、本社移転に伴い地代家賃の増加や移転関連費用が発生する見込み

地代家賃・移転関連費用

(百万円)



(1) 従業員給与、福利厚生費、法定福利費を合算した費用

(2) 本社移転に伴い一時的に生じる費用（現本社における加速償却費や修繕費等）

(3) 全てのオフィスに係る家賃

目次

1 2024年5月期 通期実績

2 成長戦略

3 2025年5月期 通期業績見通し

4 中期財務方針（2025年5月期～2027年5月期）

中期財務方針

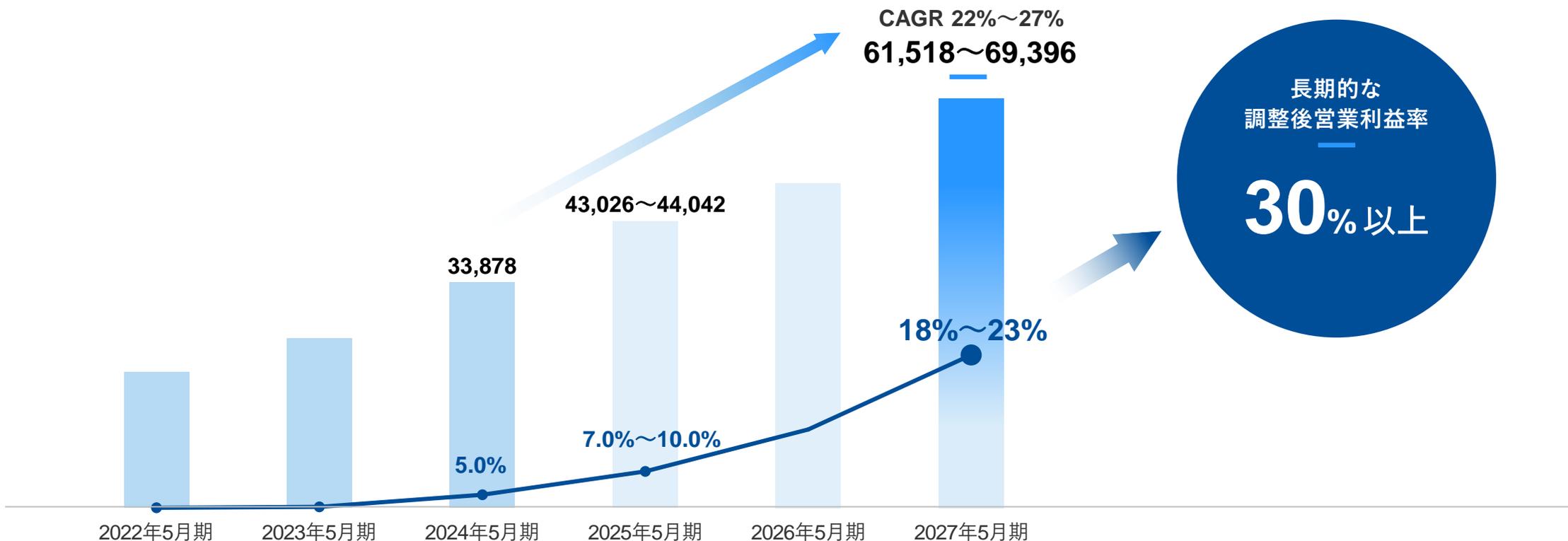
2027年5月期までの3年間の年平均成長率（CAGR）は、22%～27%を目指す
2027年5月期における調整後営業利益率は、18%～23%を見込む

中期財務方針

(百万円)

売上高

調整後営業利益率

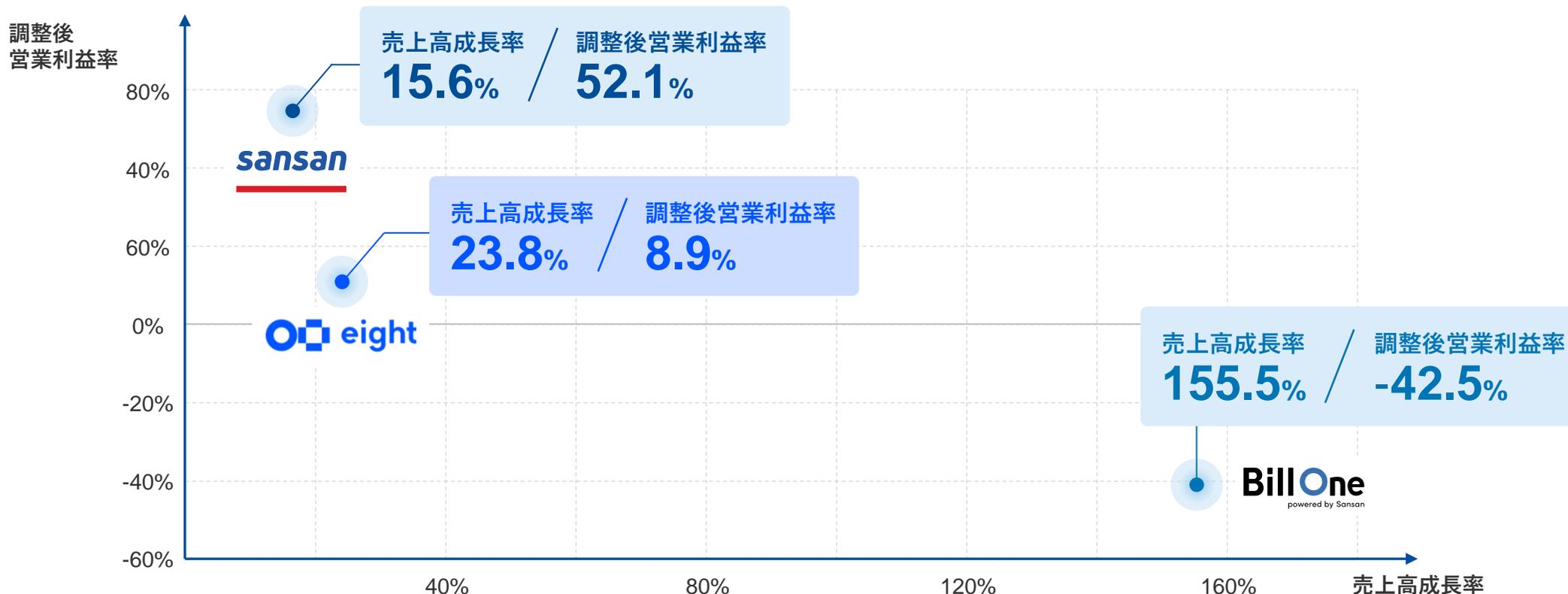


現在の事業ポートフォリオ

売上高成長率と調整後営業利益率のフェーズがそれぞれ異なる事業から構成

「Sansan」で安定的に創出するキャッシュの一部を、高成長事業である「Bill One」に配分

売上高成長率と調整後営業利益率 (1)



(1) 2024年5月期通期実績。調整後営業利益率は全社費用を配賦する前の実績

キャッシュフローの創出

2024年5月期は売上高成長率が加速しながら、大きなキャッシュフローを創出
中期財務方針に沿って、今後も安定的なキャッシュフローが確保できる見通し



本社移転に伴う敷金の支出を除くと、
フリーキャッシュフローは42億円
(フリーキャッシュフローマージン：12.6%)

自己株式の取得について

中期財務方針や株価動向、ストックオプションの発行及び権利行使等による希薄化率等を考慮し、株主還元の一環として自己株式を取得今後も株式市場の動向や財務状況等を勘案した上で、機動的に実施を検討していく予定

自己株式取得の概要

取得の理由

現在の財務状況や中長期での財務方針、並びに足元の株価動向やストックオプションによる株式の希薄化率等を勘案した上で、株主還元の一環として実施するもの

取得対象株式の種類

当社普通株式

取得し得る株式の総数

20万株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合0.16%）

株式の取得対価の総額

300百万円（上限）

取得期間

2024年7月12日～2024年8月31日

取得方法

東京証券取引所における市場買付

補足資料



グループ概要



ミッションとビジョン

Mission

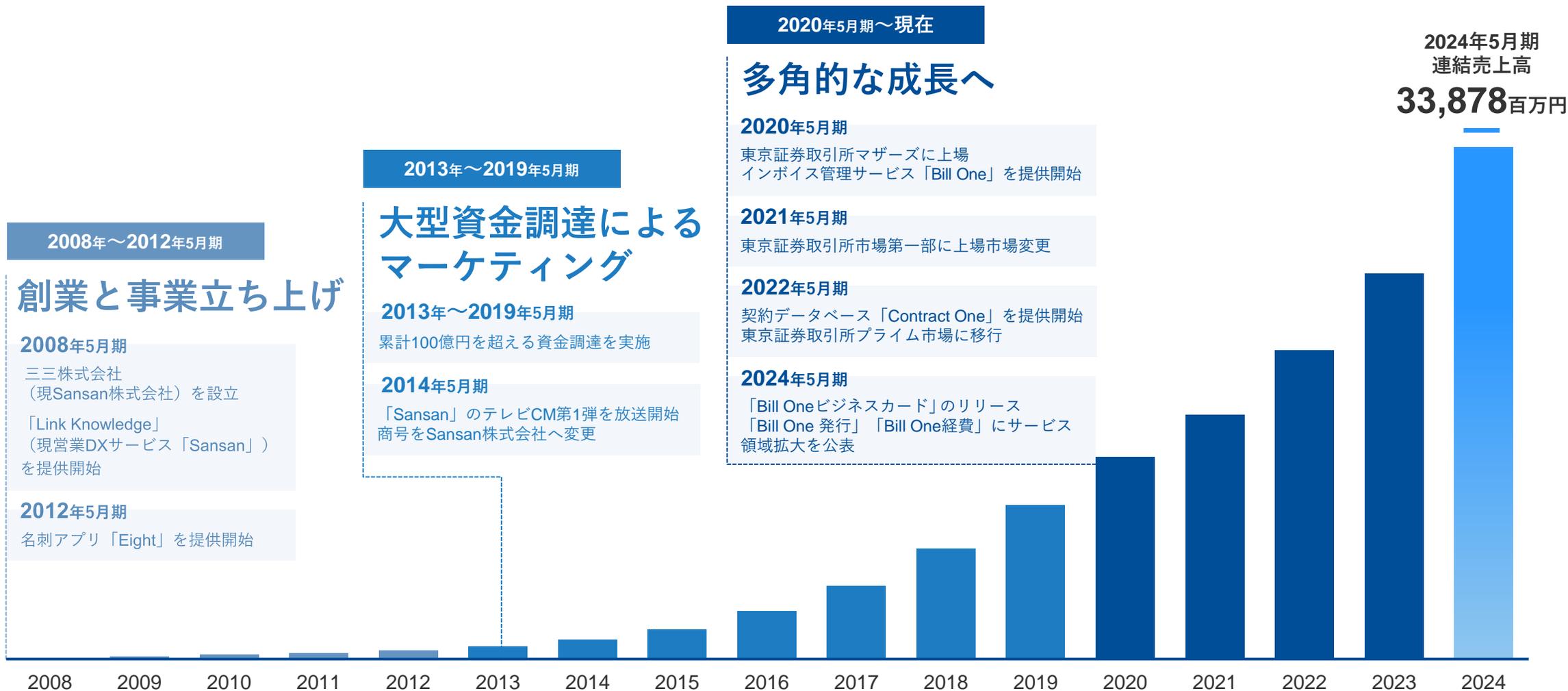
出会いから
イノベーションを生み出す

Vision

ビジネスインフラになる



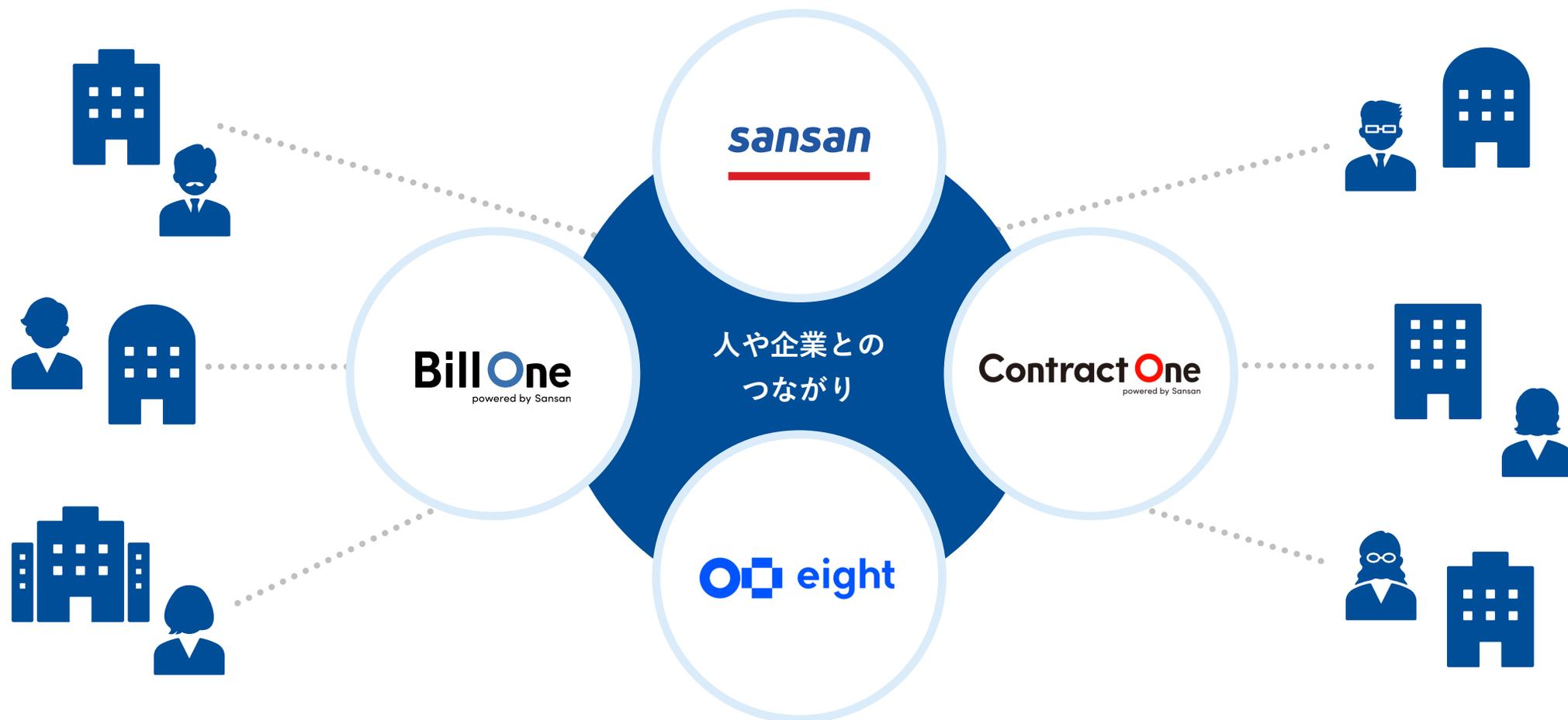
これまでの歩み (1)



(1) グラフは、各年5月期の売上高 (2016年5月期以前は単体売上高、2017年5月期以降は連結売上高)

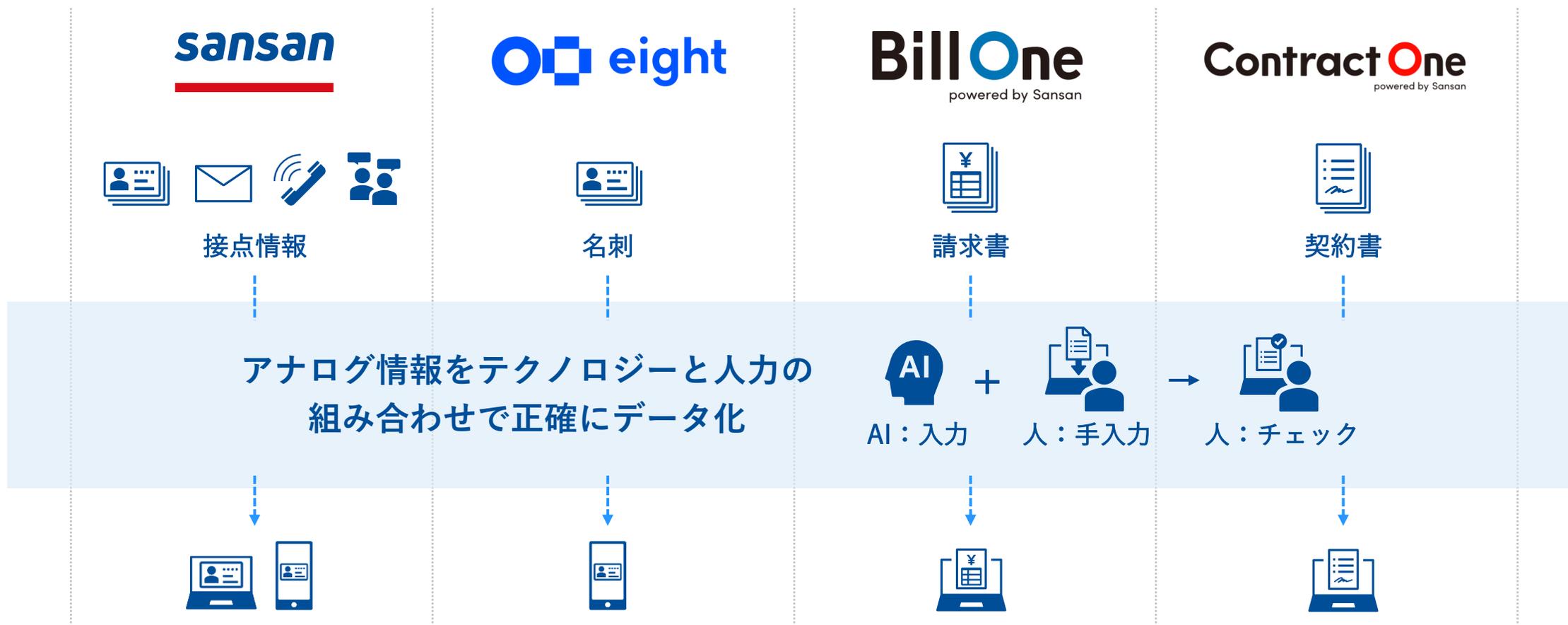
働き方を変えるDXサービス

人や企業との出会いをビジネスチャンスにつなげる「働き方を変えるDXサービス」を提供



「アナログからデジタル」に着目したSaaS

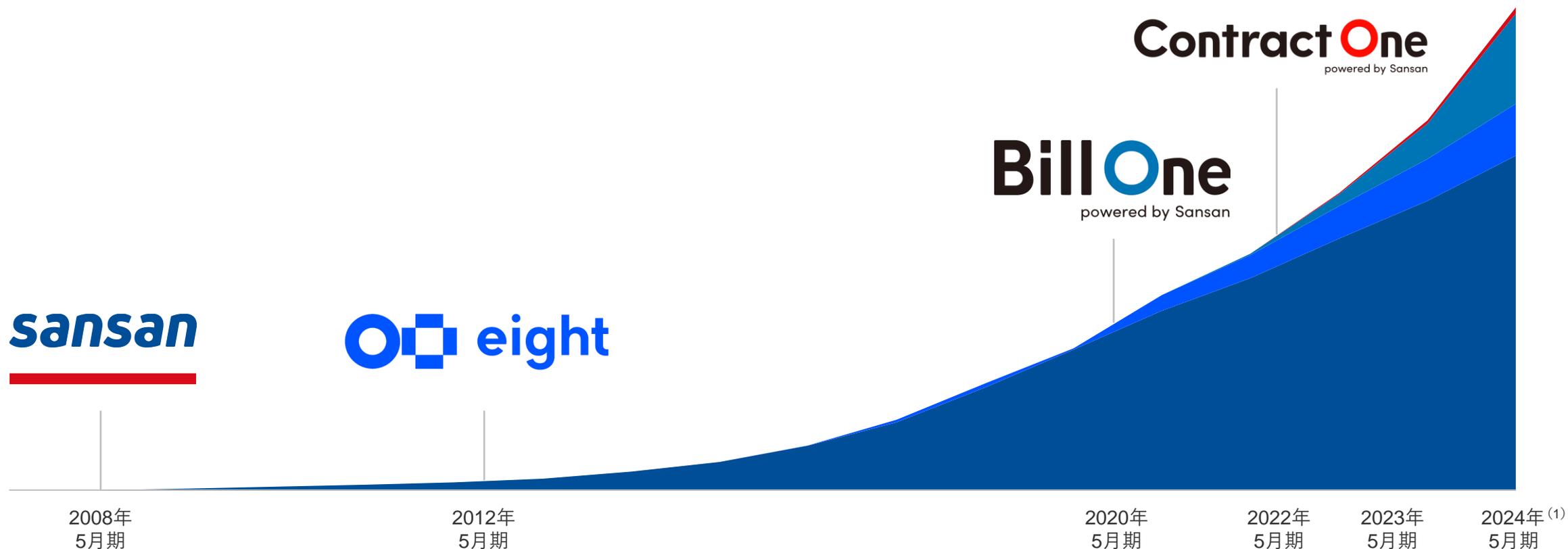
紙をはじめとしたアナログな業務フローが残っていることで、デジタル化による大きな効率化の余地があることに注目
さまざまなアナログ情報をスピーディかつ正確にデジタル化し、業務の生産性の向上やデータ活用による利便性を提供



主要サービスの開始時期

2008年5月期に創業し、「Sansan」の提供を開始

その後も複数のサービスを創出し、2020年に提供を開始した「Bill One」が急速なスピードでの成長を実現



(1) グラフは、各サービスの売上高を積み上げたもの。主要サービスの売上比率は、Sansan：68% Bill One：18% Eight：10%

セグメント概要

Sansan／Bill One事業とEight事業の2つの報告セグメント(1)で構成

	連結に占める売上高比率(2)	主なサービス	
Sansan／ Bill One 事業	<p>「Sansan」 68%</p>	<p>営業DXサービス</p>	
	<p>「Bill One」 18%</p>	<p>インボイス管理サービス</p>	
	<p>その他 3%</p>	<p>契約データベース</p>	<p>CREATIVE SURVEY マルチチャネルフォーム</p>
Eight事業	<p>BtoCサービス 1%</p>	<p>個人向け名刺管理サービス</p>	
	<p>BtoBサービス 9%</p>	<p>法人向け名刺管理サービス ビジネスイベントサービス 採用関連サービス</p>	<p>logmi イベント書き起こしサービス</p>

(1) 報告セグメント外の僅少なその他のサービスはその他、連結消去（売上高）及びセグメントに配賦しない各種コストは調整額に計上

(2) 2024年5月期 通期実績

アナログ情報をデジタル化する仕組みとテクノロジー

競合他社の追従を許さないアナログ情報のデータ化オペレーションを確立

大量のアナログ情報を、迅速かつ正確にデータ化



テクノロジーの組み合わせ

項目の自動判別・
マイクロタスク化

言語の自動判定

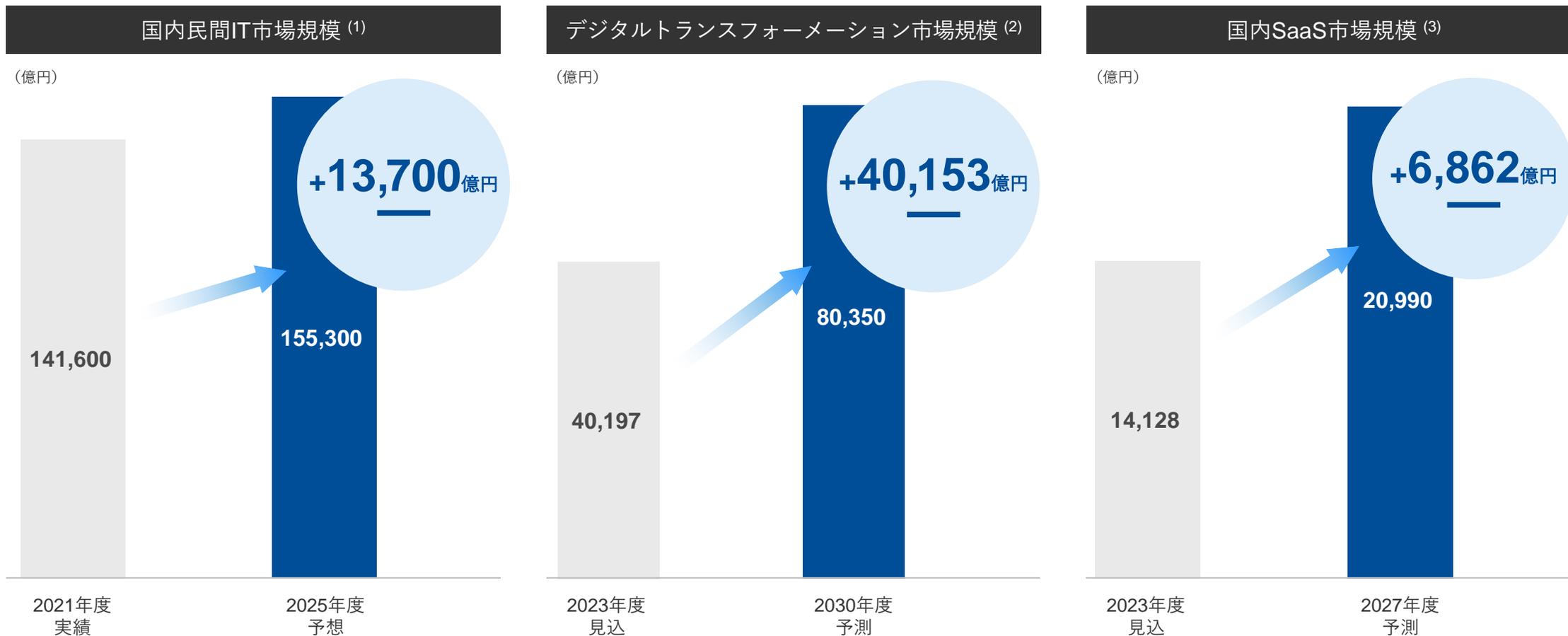
オペレーターへの
自動振分け

分散化された入力
オペレーターネットワーク

画像処理技術

追い風となる市場環境

デジタルトランスフォーメーション等がクラウドサービスへのニーズを後押し



(1) 「2023 国内企業のIT投資実態と予測」 矢野経済研究所
(2) 「2024 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望 市場編/企業編」富士カメラ総研
(3) 「ソフトウェアビジネス新市場 2023年版」富士カメラ総研

国内SaaS市場の可能性

IT支出に占めるSaaS割合の拡大が見込まれる

2023年度予測

28.5兆円
前年同期比 4.7%増

日本エンタプライズ
IT支出市場⁽¹⁾

IT支出に占める
SaaS割合が
米国と同水準 (10.9%⁽²⁾)
になった場合

3.1兆円

1.4兆円 前年同期比17.1%増

日本SaaS市場⁽³⁾
(日本エンタプライズIT支出市場対比5.0%)

(1) 「日本の産業別エンタプライズIT支出予測」ガートナー・ジャパン株式会社
(2) 「United States IT Spending Market Outlook」EMR、「Software as a Service – United States」Statista Market Forecastより当社作成
(3) 「ソフトウェアビジネス新市場 2023年版」富士キメラ総研

会社概要 (1)

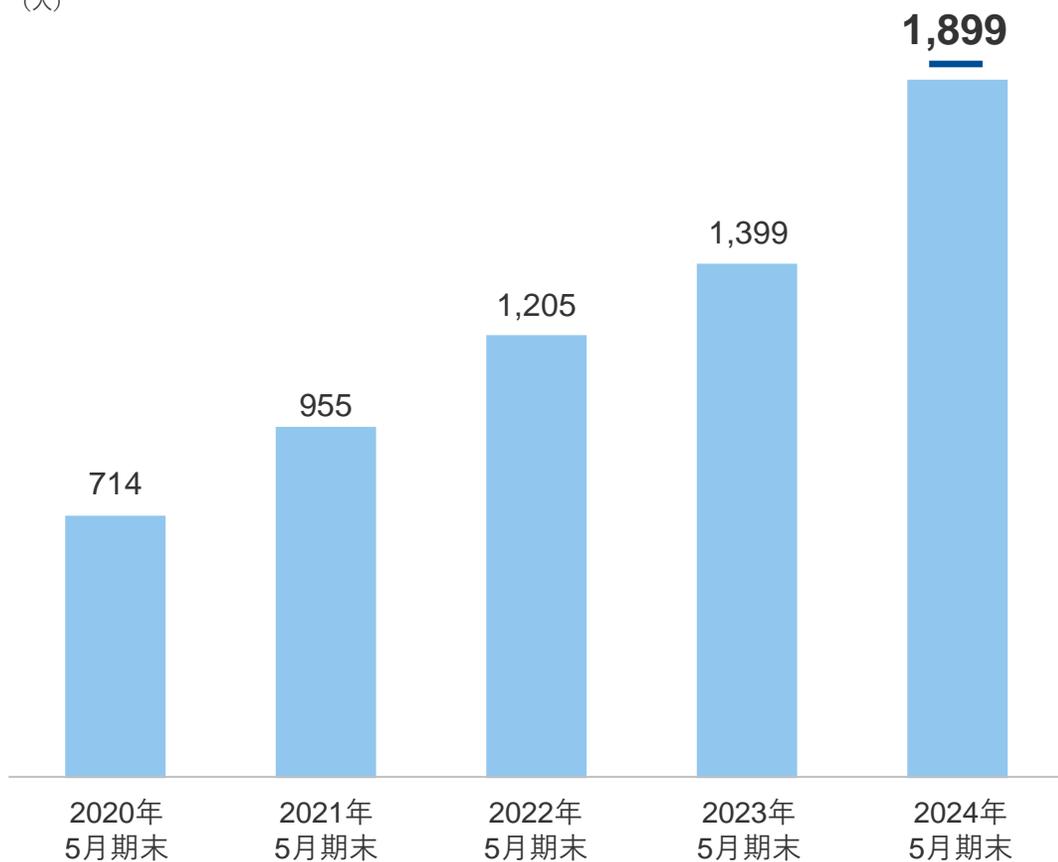
社名	Sansan株式会社（英語表記 Sansan, Inc.）
設立	2007年6月11日
所在地	表参道本社（東京都渋谷区神宮前5-52-2 青山オーバルビル 13F）
拠点	支店：東京、大阪、福岡、愛知 サテライトオフィス：徳島、京都、新潟
グループ会社	Sansan Global Pte. Ltd.（シンガポール） Sansan Global Development Center, Inc.（フィリピン） Sansan Global (Thailand) Co., Ltd.（タイ） ログミー株式会社 株式会社ダイヤモンド企業情報編集社 クリエイティブサーベイ株式会社 株式会社言語理解研究所
代表者	寺田 親弘
従業員数	1,899名
資本金	6,774百万円
売上高	33,878百万円（2024年5月期）
株主構成	個人その他21.49%、外国法人等39.12%、金融機関12.99%、その他の国内法人26.14%、証券会社0.25% （2024年5月31日現在）



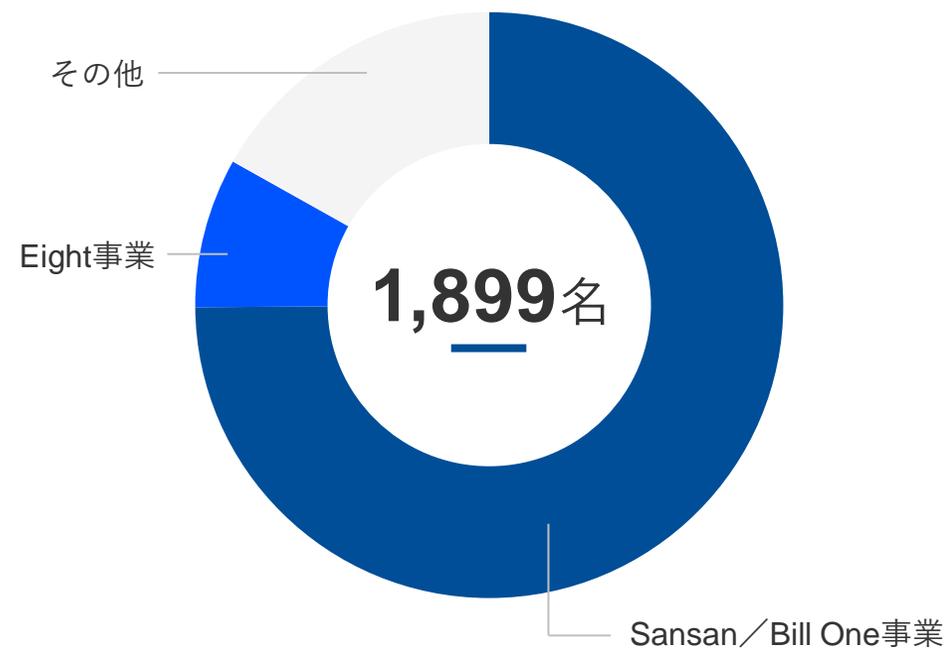
従業員数

連結従業員数

(人)



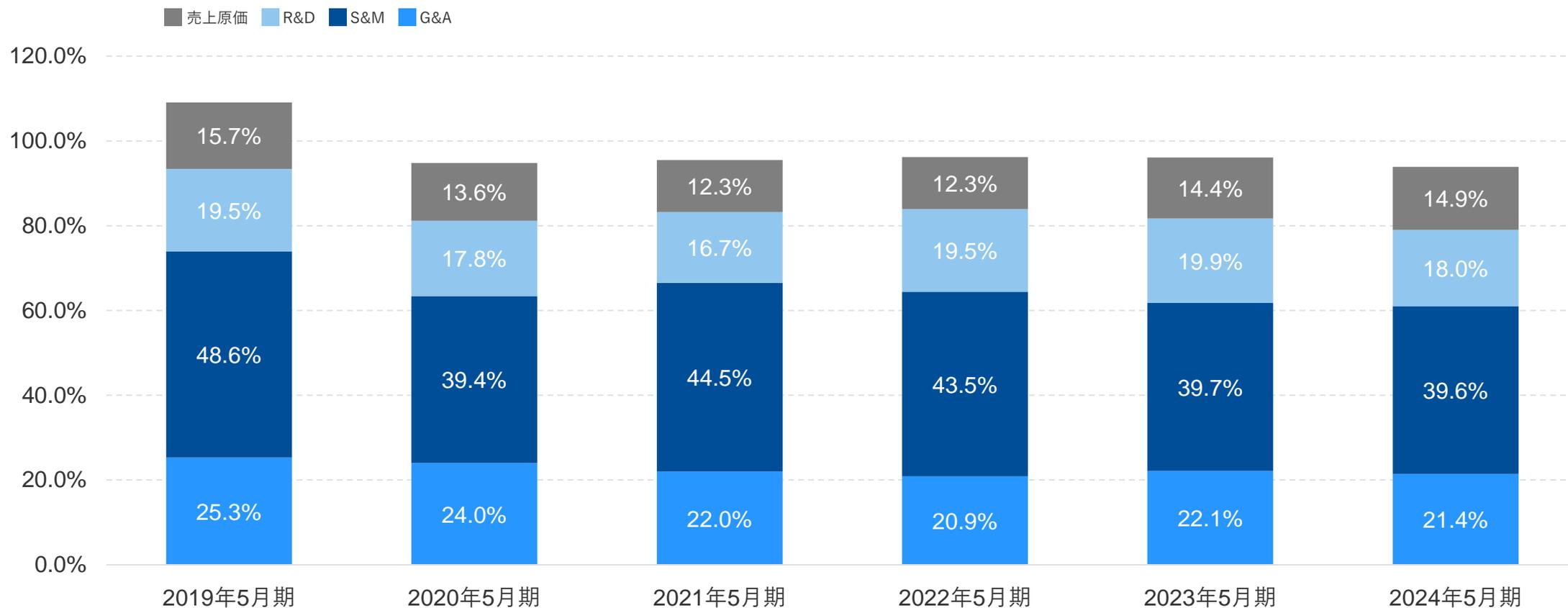
人員構成 (1)



(1) 2024年5月31日現在

各種費用の対売上高比率

売上高に対する各種費用の割合⁽¹⁾ (売上原価・R&D⁽²⁾・S&M⁽³⁾・G&A⁽⁴⁾)



(1) 未監査
 (2) Research and Development (研究開発に関連する人件費やサーバー費用、共通費用等の合計値)
 (3) Sales and Marketing (広告宣伝費や販売促進に関連する人件費、共通費用の合計値)
 (4) General and Administrative (コーポレート部門の人件費や関連する共通費用等の合計値)

調整額⁽¹⁾における費用の内訳

	(百万円)	2023年5月期	2024年5月期		(ご参考) 2024年5月期	
		通期実績	通期実績	前年同期比	Q4実績	前年同期比
調整額における費用の内訳	広告宣伝費	70	90	+28.0%	40	+82.1%
	人件費	1,348	1,816	+34.7%	449	+25.6%
	サーバー・PC費用	573	804	+40.2%	248	+50.9%
	家賃	1,004	1,075	+7.1%	308	+15.9%
	採用費	267	379	+41.9%	119	+53.7%
	その他	2,591	3,034	+17.1%	929	+21.4%
	人員関連費用	756	986	+30.3%	290	+33.2%
	オフィス関連費用	768	829	+7.8%	331	+59.6%
	その他	1,065	1,219	+14.4%	307	-9.5%
	Total	5,856	7,201	+23.0%	2,095	+26.7%

(1) 報告セグメントに配賦していない全社費用の金額であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費

セグメント利益の算出方法の変更

各セグメントに配賦していなかった本社費用を、2025年5月期からセグメントに配賦

現算出方法

新算出方法

		2024年5月期	
		通期実績	
調整後営業利益	連結	1,709	
	Sansan/Bill One事業	8,675	
	Eight事業	314	
	その他	-79	
	調整額	-7,201	

		2024年5月期	
		(参考)通期実績	
	連結	1,709	
	Sansan/Bill One事業	2,252	
	Eight事業	-464	
	その他	-79	
	調整額	0	



(百万円)

Sansan / Bill One事業



「Sansan」：サービス概要

さまざまな接点情報や企業情報を活用することで、生産性の向上や営業力の強化を実現



営業活動の課題を解決

正しい顧客情報がないために
営業機会を逃している



アナログな作業による
非効率性



「Sansan」：さまざまな企業情報の搭載 (1)

企業情報詳細

浅葉建設株式会社

浅葉建設株式会社

- 財務・業績
- 関係会社 (4)
- 拠点 (17)
- 組織ツリー (237)
- 接点マップ
- 名刺 (485)
- 活動履歴 (83)
- 案件 (46)
- ニュース



浅葉建設株式会社

フォロー中

概要
DCD情報
商談管理
契約情報
アンケート回答
問い合わせ履歴

活動量



2021年

名刺交換	メール	電話	面会
34	203	54	12

企業概要

ビルの新規設計

高層ビル事業を得意とし、高度な技術とノウハウ、業界唯一の技術研究所を有している。三本木再開発や八の内駅舎保存、イチ原地区などの開発事業や海外でのプロジェクトにも実績が豊富である。海外を拠点に建設事業の推進を行い、既存事業の基盤強化や新規案件の開発・販売も手掛けている。また、石油製品、原油などの原油エネルギー事業において仕入販売・トレーディングからガソリンスタンドの一般消費者向け販売まで対応している。

住所① 〒754-0894 東京都新宿区富久町482-3

拠点数① 3

電話番号① 33-1288-0038 URL① <http://kensetsu-asaba.exmple>

資本金(円)① 1,000億 ~ 従業員数① 5,000 ~ 10,000

更新日：2019/12/20 更新者：岡部

案件 (46)

ニュース

人事異動・連絡先変更

社内のニュース

企業のニュース

企業情報

企業概要

ビルの新規設計から、住宅まで一気通貫して担う建設会社のパイオニア

高層ビル事業を得意とし、高度な技術とノウハウ、業界唯一の技術研究所を有している。三本木再開発や八の内駅舎保存、イチ原地区などの開発事業や海外でのプロジェクトにも実績が豊富である。海外を拠点に建設事業の推進を行い、既存事業の基盤強化や新規案件の開発・販売も手掛けている。また、石油製品、原油などの原油エネルギー事業において仕入販売・トレーディングからガソリンスタンドの一般消費者向け販売まで対応している。

住所① 〒754-0894 東京都新宿区富久町482-3

拠点数① 3

電話番号① 33-1288-0038 URL① <http://kensetsu-asaba.exmple>

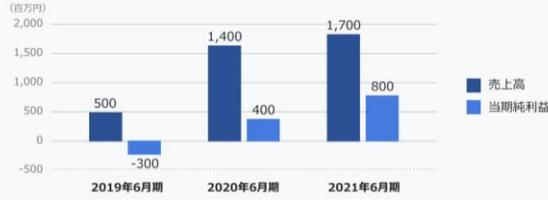
資本金(円)① 1,000億 ~ 従業員数① 5,000 ~ 10,000

代表者の氏名① **田中 俊三** 役員・管理職① **執行役員 開発本部長 内田 徹也**
最新の名刺交換日：2019/12/27 [他5名の詳細を見る](#)

最新期業績売上高(円)① 1,000億 ~ 3,000億 決算年月① 2020/05

創業年月① 1980/12 設立年月① 1980/12

業績



業種① 主業 土木建築サービス業
従業 土木工事業 (造園工事業を除く)

「Sansan」：接点情報のデータ化による社内人脈の可視化

接点管理

名刺作成 2 タグ操作 ▾ ダウンロード ▾ リマインドー覧 同一人物候補

すべて(58398) | 選択中(0) | データ化未完了(0) 482 件中 1~30件目 ▾ < > 名刺交換日順 ▾ ⚙

<input type="checkbox"/>	会社名・氏名	部署・役職	連絡先	住所	所有者・名刺交換日	
<input type="checkbox"/>	 <p>浅葉建設株式会社 田中 徳兵衛</p>	営業本部 本部長	☎ 33-0284-2267 ✉ tanaka@example.co.jp	📍 東京都新宿区富久町482-3	 淵上 文江 [営業部] 2022/12/12	⋮
<input type="checkbox"/>	 <p>三三ホールディングス株式会社 内田 徹也</p>	情報本部 本部長	☎ 33-0031-0033 📞 072-9493-3273 ✉ uchida@example.co.jp	📍 東京都渋谷区神宮前5-52-2 青山オーバルビル13F	 淵上 文江 [営業部] 2022/12/12	⋮
<input type="checkbox"/>	 <p>さくら生命保険株式会社 山野 誠一郎</p>	市場開発本部 法人第一営業部 部長 退職済み	☎ 33-2469-0396 📞 074-5983-4338 ✉ yamano@example.co.jp	📍 東京都千代田区神田淡路町 3-357-7	 坂下 信夫 [産業・流通] 2022/12/12	⋮

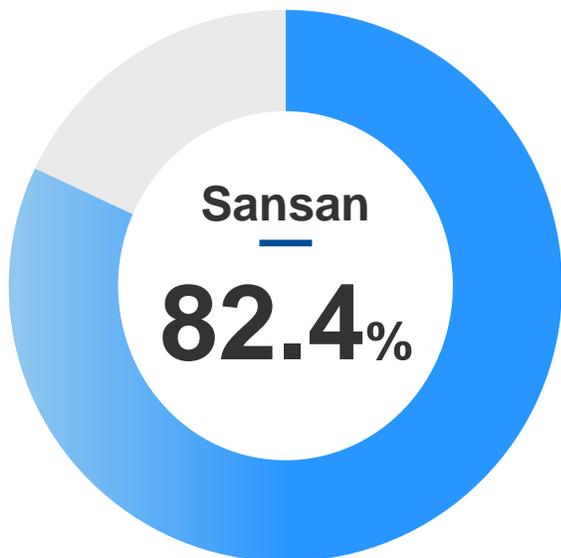
「Sansan」：市場シェアと導入顧客

BtoB領域における高い認知度を獲得し、圧倒的な市場シェアを確立

創業以来培った国内トップレベルのSaaS経営ノウハウを背景に、盤石な顧客基盤を構築

BtoBにおける圧倒的な認知度と市場シェア

2022年売上高シェア(1)



強固な営業組織と盤石な顧客基盤

創業16年間で培った
SaaSノウハウ



(1) 営業支援DXにおける名刺管理サービスの最新動向2024 (2024年1月 シード・プランニング調査)

「Sansan」：料金プラン

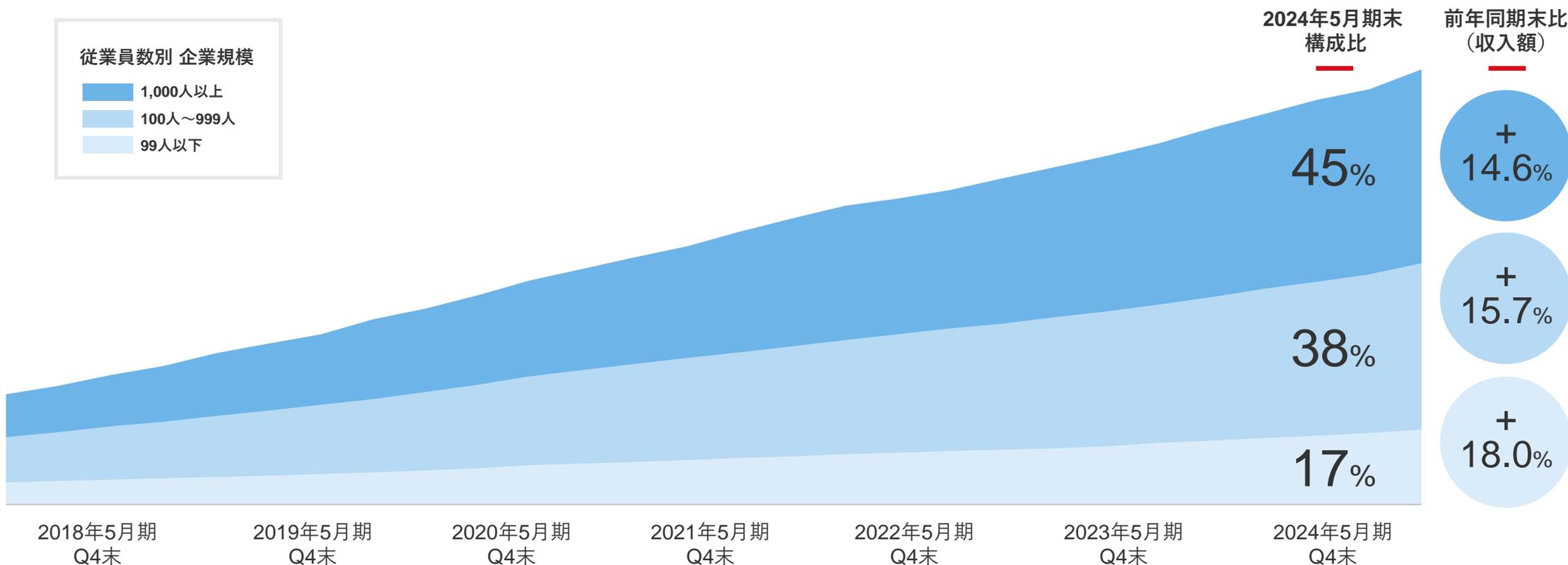
全社で利用するプランを基本プランとして提供

	A. 基本プラン（全社利用）	B. 旧プラン（ID課金）	支払いタイミング
1 初期費用 (イニシャルコスト)	ライセンス費用の12か月分 既に保有する全ての名刺をデータ化するための費用	契約ID数に応じた費用 既に保有している名刺をデータ化する費用（枚数上限あり）	契約開始時
2 カスタマーサクセス プラン (イニシャルコスト)	個別見積にて導入支援プランを提供 「Sansan」を活用するための導入及び運用支援を行うための費用		契約開始時
3 スキャナ (ランニングコスト)	月額10,000円／台 顧客のオフィスフロア及び拠点数分のスキャナとタブレットを貸出		契約開始時 + 更新時
4 ライセンス費用 (ランニングコスト)	企業規模や利用用途に応じて設定 (年間契約) 1契約当たり月額数万～数百万円	契約ID数に応じて設定 (年間契約) ID毎の固定課金（名刺データ化枚数上限あり）	契約開始時 + 更新時

「Sansan」：顧客規模別収入構成（ストック収入）

顧客規模別の収入構成比に大きな変化はなし

「Sansan」顧客規模別の収入構成⁽¹⁾（ストック収入）



(1) 「Sansan」のMRRを基に作成（未監査）。企業規模は最新四半期末時点の企業情報に準拠

「Bill One」：サービス概要

あらゆる形式の請求書をオンラインで受領可能にし、正確なデータ化を通じて請求書業務のDX化を促進
「Bill One」の導入により、さまざまな法改正等へのスムーズな対応や月次決算早期化を実現



企業の請求書業務の課題を解決

紙の請求書の受領、管理は
時間がかかり労働集約的



紙の請求書の処理のために
出社が必要



(1) 当社が規定する条件を満たした場合のデータ化精度。

「Bill One」：紙やPDF等の請求書の正確なデータ化

請求書情報

Juryo 請求書登録 請求書管理 請求書自動登録 発注照合管理 取引先管理 カード管理 承認待ちの請求書 2 受領商事株式会社

受領業務

請求書詳細

123% 123% 123%

請求書

受領商事 株式会社 御中
ご担当： 山田 太郎 様

請求No. 1234567891
請求日 2020年4月14日 火曜日

件名： 3月分の印刷代
下記の通り、ご請求申し上げます。

発行印刷株式会社
〒100-1234
東京都新宿区新宿1-2-3
新宿第1ビル2階
TEL： 03-1111-2222
FAX： 03-3333-4444
E-Mail： sato@hako.com
担当： 佐藤 花子

合計金額 **¥550,000** (税込) お支払期限： **2020年5月31日**

No.	摘要	数量	単価	金額
1	チラシ印刷代 5万枚	1 個	500,000	¥500,000

担当者確認	課長承認	部長承認	経理承認	経理部長承認	計上済
山田太郎 取消	サイン	サイン	サイン	サイン	サイン

0 0

発注照合 **完了** | 費用按分 **確認済**

請求書情報

登録日時: 2020/04/15 0:00:00 通貨 JPY

適格請求書の判定結果 **判定未実施**
 判定対象外にする

事業者分類 課税事業者

取引先 発行印刷株式会社

登録番号 14桁の文字列 (T+数字13桁)

取引年月日 2020/03/31

「Bill One」：「Bill Oneビジネスカード」の機能概要

「Bill Oneビジネスカード」は、法人カード支払いにおける業務を効率化し、月次決算のさらなる加速に寄与するオプション機能
カードユーザーは、インボイス制度・改正電子帳簿保存法への対応や不正リスクの低減も可能



① カードの一元管理

「Bill One」上でカードの発行が可能
貸し出しや管理の工数を削減

② 発行時のセキュリティー対策

カード1枚1枚に、
利用限度額や利用用途の制限が可能
不正利用リスクを極力低減

③ 利用明細と証憑の自動突合

証憑を精度99.9%⁽¹⁾・翌営業日中に
データ化し明細と証憑を自動照合

(1) 当社が規定する条件を満たした場合のデータ化精度

「Bill One」：顧客基盤とポジショニング

業種業態を問わず、さまざまな企業利用が拡大

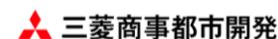
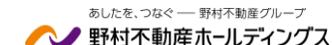
クラウド請求書受領サービス市場において、売上高シェアNo.1を獲得

クラウド請求書受領サービス市場 (1)

導入顧客事例

Bill One
powered by Sansan

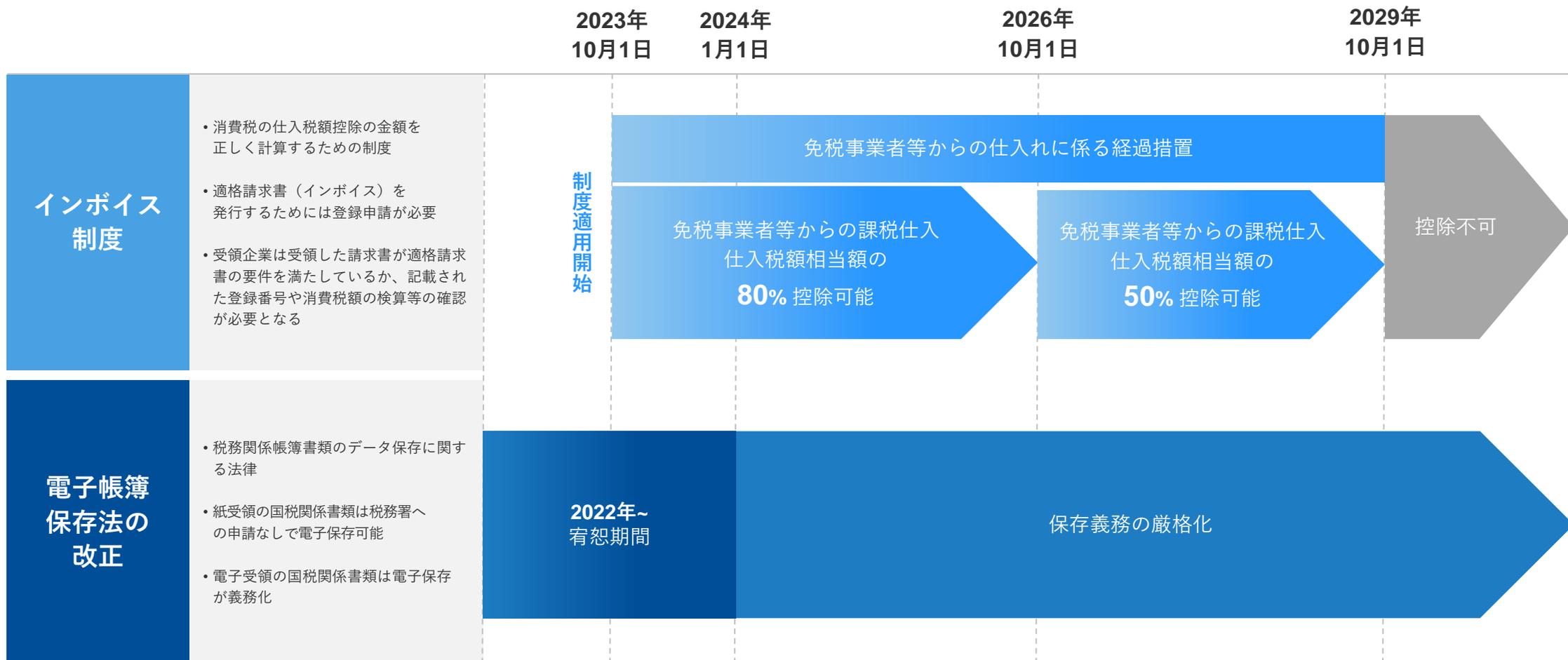
請求書受領サービス
売上高シェア
—
NO.1



(1) デロイト トーマツ ミック経済研究所 「驚異的な成長を続けるクラウド請求書受領サービス市場」 (ミックITレポート2023年11月号)

「Bill One」：請求書分野のインボイス制度開始後の外部環境

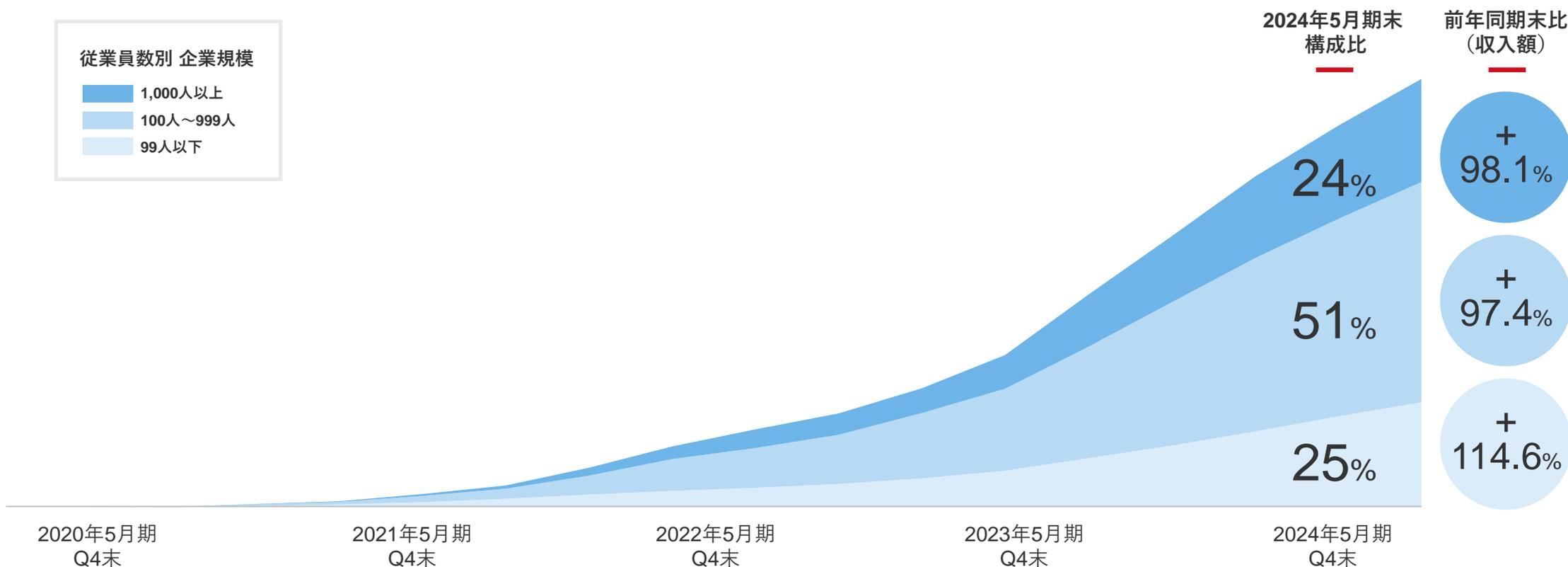
2023年10月にインボイス制度の適用が開始、2023年12月末に電子帳簿保存法の宥恕期間が終了
 インボイス制度の経過措置の終了等、請求書を取り巻く外部環境にはさまざまな変化が生じる見込み



「Bill One」：中堅・大企業カバレッジの拡大余地

顧客規模別の収入構成比に大きな変化はなし

「Bill One」 企業規模別の収入構成 (1)



(1) 「Bill One」のMRRを基に作成 (未監査)

Eight事業



「Eight」：サービス概要

タッチ名刺交換等のデジタル名刺交換や交換した名刺を管理する機能を備えた、350万人以上のビジネスパーソンが利用する名刺アプリ

タッチで交換。スマートに管理。

名刺アプリ「Eight」



Eightは価値ある出会いをタッチでつなく、
ビジネスのための名刺アプリです。

アプリを開いてすぐ名刺交換



名刺を撮影するだけで簡単に管理・検索



異動・昇進・転職等の近況情報が届く



名刺交換、名刺管理を通じてビジネス機会を創出するアプリを提供

「Eight」：マネタイズプラン

ユーザー350万人以上のネットワークを活用した企業向けサービスによるマネタイズ

個人向けサービス

企業向けサービス⁽¹⁾

名刺管理サービス

BtoC



月額固定料金
(年間契約)

名刺データダウンロード
等の追加機能が利用可能な
個人向けサービス

BtoB



月額固定料金
(年間契約)

「Eight」における
名刺共有を企業内で
可能にするサービス

イベントサービス

BtoB



固定料金⁽²⁾
(都度課金)

「Eight」のビジネスネット
ワークを活用した
各種ビジネスイベントサービス

採用関連サービス

BtoB



固定料金⁽³⁾
(期間契約)

「Eight」内の転職潜在層に
リーチ可能なプロフェッショナル
リクルーティング

(1) Eight事業のBtoBサービスには、「logmi Biz」「logmi Finance」「logmi Tech」のイベント書き起こしサービスも別途含む

(2) 開催形態等に応じて、複数の料金設定あり

(3) 採用決定時に追加料金あり

サステナビリティに関する取り組み



重要課題（マテリアリティ）

環境・社会・ガバナンスにおける重要課題（マテリアリティ）を特定し、長期的な定量目標を設定
本業を通じて、これら課題解決に取り組み、SDGs達成及び持続可能な社会構築への貢献を目指す

1 セキュリティと利便性の両立

9 重要な利益関係者の価値を高める
12 つくる責任 つかう責任

- 安全かつ安定的なインフラサービスの提供
- データプライバシーの保護と情報セキュリティの徹底

評価指標	2030年5月期目標 ⁽¹⁾	2023年5月期実績 ⁽¹⁾
重要なインシデント発生件数	0件	0件
個人情報保護士取得率	80%以上の維持	88.0%

2 革新的なDXサービスで働き方を変革

8 働きがいも 経済成長も
9 重要な利益関係者の価値を高める

- 生産性向上に寄与するDXサービスの推進
- 革新的なビジネスインフラの創造

評価指標	2030年5月期目標 ⁽¹⁾	2023年5月期実績 ⁽¹⁾
当社サービスでのアナログ情報のデジタル化件数	5億件	1.9億件 ⁽²⁾
当社サービス利用者数	2,000万人	573万人 ⁽²⁾

3 人材の多様性を尊重し、イノベーションを生み出す

4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を推進しよう
10 人や組織が学習し、成長できるように
17 パートナーシップで目標を達成しよう

- 人材の採用・育成・活躍推進
- ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョンの推進

評価指標	2030年5月期目標 ⁽¹⁾	2023年5月期実績 ⁽¹⁾
リファラル採用比率	35%	12.0%
「Unipos」 ⁽³⁾ 投稿率	80%	59.6%
女性管理職比率	30%以上	17.8%
女性従業員比率	45%以上	34.9%

4 急速な事業成長を支える強固な経営基盤の確立

16 平和と公正をすべての人に

- コーポレートガバナンスの強化
- コンプライアンスの徹底

評価指標	2030年5月期目標 ⁽¹⁾	2023年5月期実績 ⁽¹⁾
女性取締役比率	30%以上	22.2%
重大なコンプライアンス違反件数	0件	0件
コンプライアンス関連の研修受講率	100%	100%

5 事業活動を通じた自然環境の保全

12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を
15 陸の豊かさも守ろう

- 気候変動問題への対応
- 自然資源の効率的活用

評価指標	2030年5月期目標 ⁽¹⁾	2023年5月期実績 ⁽¹⁾
スコープ1+2 ⁽⁴⁾	カーボンニュートラル	851t-CO ₂
当社サービスにおけるペーパーレス機能の利用件数	1.2億件	0.1億件 ⁽²⁾

(1) 当社単体の実績・目標を記載
 (2) 「Sansan」「Bill One」「Contract One」「Eight」における該当実績を集計
 (3) Unipos株式会社が提供するピアボーナスを軸とする全従業員参加型のプラットフォームサービス
 (4) スコープ1は、当社が所有するオフィスや設備において直接排出されたGHG排出量を集計。スコープ2は、各オフィスにて購入した電力や熱エネルギー等の使用を通じて間接的に排出されたGHG排出量を集計

サステナビリティ情報の強化

当社コーポレートサイト内サステナビリティページにおけるESGデータを拡充
「統合報告書2023」を発行し、サステナビリティに関する情報を拡充

- サステナビリティページ



日本語 : <https://jp.corp-sansan.com/sustainability/>
English : <https://www.corp-sansan.com/sustainability/>

- 統合報告書



日本語 : <https://ir.corp-sansan.com/ja/ir/library/report.html>
English : <https://ir.corp-sansan.com/en/ir/library/report.html>

外部評価

ESGやサステナビリティ、IR活動に関するさまざまな外部評価を獲得

ESGレーティング、ESG指数

MSCI⁽¹⁾

**MSCI ESGレーティング
A評価**



FTSE

**FTSE Blossom Japan
Index**



FTSE

**FTSE Blossom Japan
Sector Relative Index**



統合報告書2023

MerComm, Inc. 「International ARC Awards」

**PDF Version of Annual Report
部門 Bronze賞受賞**



年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）

改善度の高い統合報告書

IRサイト

日興アイ・アール

**全上場企業ホームページ充実度
ランキング 最優秀賞**



大和インベスター・リレーションズ

**2023インターネットIR表彰
優良賞**



(1) THE USE BY SANSAN, INC. OF ANY MSCI ESG RESEARCH LLC OR ITS AFFILIATES ("MSCI") DATA, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT, RECOMMENDATION, OR PROMOTION OF SANSAN, INC. BY MSCI. MSCI SERVICES AND DATA ARE THE PROPERTY OF MSCI OR ITS INFORMATION PROVIDERS, AND ARE PROVIDED 'AS-IS' AND WITHOUT WARRANTY. MSCI NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI.

sansan

